

指導事項配列表（3年）NO.1

指導事項配列表（3年①）				指導事項等	〔知識及び技能〕										
					(1) 言葉の特徴や使い方に 関する事項					(2) 情報の 扱い方に 関する事項		(3) 我が国の言語文化に 関する事項			
					ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の 全体を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字に ついて、文や文章の中で使い慣れること。	イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用 句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うこと もに、和語・漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感 を磨き語彙を豊かにすること。	ウ 話や文章の種類とその特徴について理解を深めること。	エ 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うこ と。	ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めるこ と。	イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うこと。	ア 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界 に親しむこと。	イ 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使 うこと。	ウ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについ て理解すること。	オ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用 について理解すること。	
月		教材	時数												
4	1 深まる 学びへ	世界はうつくしいと	1		◎										
		握手	4		◎										
		漢字に親しもう1		◎											
		〔聞く〕意見を聞き、適切さを判断する	1					◎							
文法への扉1 「走って」いるのは誰？ →文法1 文法を生かす（P230-232）		1													
説得力のある構成を考えよう スピーチで心を動かす		3						◎							
言葉1 相手や場に応じた言葉遣い		1					◎								
学びて時に之を習ふ——「論語」から 漢文の訓読		2								◎		◎			
5		季節のしおり 春	－												
	2 視野を 広げて	作られた「物語」を超えて	3						◎						
		思考のレッスン 具体化・抽象化	1						◎						
		論理の展開を意識して書こう グラフを基に小論文を書く	4						◎						
漢字1 熟語の読み方		1	◎												
6		漢字に親しもう2		◎											
	3 言葉と ともに	俳句の可能性 〔書く〕俳句の創作教室	4 [2]		◎										
		俳句を味わう			◎										
		言葉の釣り糸を垂らす	2		◎										
言葉2 和語・漢語・外来語				◎											
7		語彙を豊かに 時代や世代による言葉の変化	1		◎								◎		
	情報×SDGs	実用的な文章を読もう／ 報道文を比較して読もう	3 [1]				◎		◎	◎					
		情報整理のレッスン 情報の信頼性								◎					
	7	いつも本は そばに	読書を楽しむ	1											
「私の一冊」を探しにいこう 羊と鋼の森															◎
読書案内 本の世界を広げよう			1												◎
コラム ためになるってどんなこと？															◎
		季節のしおり 夏	－												

- ・学習経験として蓄積させる。

[illegible]

指導事項配列表（3年）NO.2

指導事項配列表（3年②）				指導事項等	【知識及び技能】									
					(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項				(2)情報の 扱い方に 関する事項		(3)我が国の言語文化に 関する事項			
					ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の 全体を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字に ついて、文や文章の中で使い慣れること。	イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用 句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うこと も、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感 を磨き語彙を豊かにすること。	ウ 話や文章の種類とその特徴について理解を深めること。	エ 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うこ と。	ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めるこ と。	イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うこと。	ア 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界 に親しむこと。	イ 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使 うこと。	ウ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについ て理解すること。	オ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用 について理解すること。
月		教材	時数											
9	4 状況の中で	挨拶―原爆の写真によせて	2		◎									
		故郷	5										◎	
		〔推敲〕論理の展開を整える	2					◎						
言葉3 慣用句・ことわざ・故事成語		1		◎										
10	5 自らの 考えを	聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る	1				◎							
		漢字2 漢字の造語力	1	◎										
		複数の意見を読んで、考えよう ――正解が一つに決まらない課題と向き合う	3										◎	
		考えを効果的に伝えよう 多角的に分析して批評文を書く	5					◎						
		漢字に親しもう3	1	◎										
		文法への扉2「ない」の違いがわからない？ →文法2 文法のまとめ（P233-236）	1											
		聴きひたる 初恋	1		◎									
11	6 いにしへの 心を受継ぐ	季節のしおり 秋	－		・									
		和歌の世界	1							◎				
		音読を楽しむ 古今和歌集 仮名序	2							◎				
		君待つと―万葉・古今・新古今 和歌の表現技法	3							◎	◎			
		夏草―「おくのほそ道」から 俳句と俳諧	1							◎	◎			
12	7 価値を生み出す	つながる古典／古典名作選 〔書く〕古典の言葉を引用し、メッセージを贈ろう	1							◎	◎			
		それでも、言葉を	4						◎					
		漢字3 漢字のまとめ	1	◎										
		漢字に親しもう4	1	◎										
		〔話し合い（進行）〕 話し合いを効果的に進めよう	1						◎					
		季節のしおり 冬	－		・									
	いつも本は そばに	合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く	4						◎					
		本は世界への扉 天、共に在り／極夜行	1											◎
	読書案内 本の世界を広げよう												◎	

◎その教材が主たる学習場面であり、確実に身につけることが望まれる。
★対応する言語活動例。
・学習経験として蓄積させる。

※時数について……「読むこと」の教材内に「書くこと」の活動がある場合は、総時数のうち、「書くこと」の時数を「 」で示した。

〔思考力、判断力、表現力等〕														その他	
A 話すこと・聞くこと			B 書くこと				C 読むこと								
(1) 指導事項		(2) 言語活動例	(1) 指導事項		(2) 言語活動例		(1) 指導事項		(2) 言語活動例						
ア 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。		イ 自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫すること。	ウ 場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。		エ 話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりすること。		オ 進行的な文章を読み、実生活への生かし方を考える活動。		イ 詩歌や小説などを読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。						
イ 相互の考えを生かしながら議論や討論をする活動。		ア 提案や主張など自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりする活動。	ア 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすること。		イ 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫すること。		ウ 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること。		エ 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えること。		オ 論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。				
イ 関心のある事柄について批評するなど、自分の考えを書く活動。		ア 情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く活動。	イ 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。		ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。		エ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。		ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。		イ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。				

指導事項配列表（3年）NO.3

指導事項配列表（3年③）			指導事項等	【知識及び技能】										
				(1) 言葉の特徴や使い方に 関する事項				(2) 情報の 扱い方に 関する事項		(3) 我が国の言語文化に 関する事項				
				ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の 全体を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字に ついて、文や文章の中で使い慣れること。	イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用 句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うこと もに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感 を磨き語彙を豊かにすること。	ウ 話や文章の種類とその特徴について理解を深めること。	エ 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うこ と。	ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めるこ と。	イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うこと。	ア 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界 に親しむこと。	イ 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使 うこと。	ウ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについ て理解すること。	オ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用 について理解すること。	
月		教材	時数											
1	8 未来へ 向かって	温かいスープ	6											◎
		アラスカとの出会い											◎	
		律儀な桜											◎	
		わたしを束ねないで		◎										
		三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする	5			◎								
2		初日	2		◎									
		漢字に親しもう5		◎										
3	巻末教材 学びを深める	国語の力試し	3		◎					◎				
文法 一、二年生の復習 文法1 文法を生かす 文法2 文法のまとめ		-												
小学校六年生で学習した漢字一覧		-	◎											
語彙ブック		-		◎										

◎その教材が主たる学習場面であり、確実に身につけることが望まれる。
★対応する言語活動例。
・学習経験として蓄積させる。

※時数について……「読むこと」の教材内に「書くこと」の活動がある場合は、総時数のうち、「書くこと」の時数を〔 〕で示した。

〔思考力、判断力、表現力等〕													
A 話すこと・聞くこと				B 書くこと				C 読むこと					
(1) 指導事項		(2) 言語活動例		(1) 指導事項		(2) 言語活動例		(1) 指導事項		(2) 言語活動例			
ア 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。 イ 自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫すること。 ウ 場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。		ア 進捗の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすること。 エ 話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりすること。		ア 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすること。 イ 互いの考えを生かしながら議論や討論をする活動。 ア 提案や主張など自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりする活動。		ア 論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。 エ 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えること。 ウ 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること。 イ 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫すること。		ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。 イ 情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く活動。 ア 関心のある事柄について批評するなど、自分の考えを書く活動。		ウ 実用的な文章を読み、実生活への生かし方を考える活動。 イ 詩歌や小説などを読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。 ア 論説や報道などの文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする活動。 エ 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつこと。 ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。 イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。 ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。			
										◎			
										◎			
										◎			
										◎			
◎		★		◎		★							
										◎			
		◎		★						★			
				◎		◎		★		◎ ◎			